

2004年度活動（2004年4月1日～2005年3月31日）

● コレクティブオフィス事業（通年／2000年9月より実施）

非営利の市民活動を始める、あるいは既に活動を始めているがまだ起動に乗らない個人やグループに、拠点となる場所と必要な設備を提供するインキュベート事業。2002年度は、スタジオ・カタリスト、兵庫県マンション管理士会、低公害車普及協会（～2005/3）、特定非営利活動法人ひょうごセルフヘルプ支援センター（～2005/2）、特定非営利活動法人神戸催眠協会が入居。

● 地域活性化のためのパソコン教室（終了／2000年10月～2005年3月）

コレクティブオフィス入居者と旧葺合地区の住民や商店に働く人々を対象に、パソコンやITを通じてコミュニティづくりを進める。2004年度は、延べ231名が受講。パソコンリースの終了と、今後の事業展開の方向を考慮し、2005年3月末で終了した。

● 修学旅行受け入れ業務（通年／2001年5月より実施）

修学旅行を受け入れ、生徒や学生が震災復興の状況を直に見聞することと、地元の方々が修学旅行を受け入れることによって元気になる。

- ・ 2004年5月20日 名古屋市立日比野中学校生徒153名を受け入れ
- ・ 2004年5月26日 名古屋市立東港中学校生徒215名を受け入れ
- ・ 2004年6月9日 名古屋市立豊正中学校生徒240名を受け入れ
- ・ 2005年2月24日 山形県鶴岡市立鶴岡第一中学校生徒35名を受け入れ
- ・ 中央区役所の委託により、修学旅行生のための震災体験パンフレット「あるく・きく・かんじる 震災をこえてきたまちと人」2千部を、地域の方々と実行委員会をつくり協働して作成。

● 研究者等研修受け入れ事業（通年／2002年10月より実施）

修学旅行の受け入れ以外に、研究者や自治体職員の研修を受け入れる。来てほしいという希望があるところへは、講師を派遣した。

- ・ 2004年6月8日 人と防災未来センター研修受け入れ
- ・ 2004年10月6日 高崎経済大学地域政策学会（野崎事務局長）
- ・ 2004年10月26日 人と防災未来センター研修受け入れ
- ・ 2004年11月6日 湖西市商工会研修受け入れ
- ・ 2004年11月27日 久居市自治会長研修会講演会（室崎理事長）
- ・ 2005年2月17日 兵庫ツーリズム協会研修受け入れ
- ・ 2005年2月26日 湖西市商工会講演会（森栗副理事長）

● 地域活動推進講座「明舞団地再生まちづくり講座1」（2004年9月～10月）

生活復興県民ネットの助成による公開講座として実施。住民主体のまちづくりを進めるために、神陵台地区・松が丘地区・狩口台地区の3地区で、専門家の指導でまち歩きでマップをつくり、総論として「コミュニティと合意形成」を学ぶ。

- | | | | |
|------------|-------|----------------------------|----------|
| 第1回（9月18日） | 19名参加 | 「まち歩き実践講座1～神陵台地区」 | 講師：上山卓氏 |
| 第2回（9月25日） | 27名参加 | 「まち歩き実践講座2～松が丘地区」 | 講師：辻信一氏 |
| 第3回（10月3日） | 24名参加 | 「まち歩き実践講座3～狩口台地区」 | 講師：松原永季氏 |
| 第4回（10月9日） | 17名参加 | 「住民主体のまちづくり総論～コミュニティと合意形成」 | |

講師：小林郁雄氏

● 地域活動推進講座「明舞団地再生まちづくり講座2」（2004年11月）

生活復興県民ネットの助成による公開講座として実施。高齢者が住みよいまちを実現するために、新しい住まい方としてのコレクティブハウス、高齢者をNPO・地域が支えることを学ぶ。最後にマンションの改造・建替について学ぶ。

- | | | | |
|------------|-------|-----------------------|----------|
| 第1回（11月5日） | 18名参加 | 「新しい住まいづくり～コレクティブハウス」 | 講師：野崎瑠美氏 |
|------------|-------|-----------------------|----------|

第2回 (11月12日)	22名参加	「高齢者～NPOが支える」	講師：桑原美千子氏
第3回 (11月19日)	18名参加	「高齢者～地域で支える」	講師：日笠昭子氏
第4回 (11月26日)	22名参加	「住民主体の団地再生～マンション改造・建替」	講師：野崎隆一氏

● 調査研究事業

○ 総括検証・提言事業検証レポート (財団法人阪神・淡路大震災記念協会からの委託)

神戸まちづくり研究所 (神戸復興塾) の「団体概要」、「初期及び復旧期の活動 (1995～1997)」、「復興初期の活動 (1998～1999)」、「本格復興期の活動 (2000～2004)」、「総括と提案」にまとめた。

○ NPO共同事務所整備によるコミュニティ活性化拠点づくり (2004年8月～2005年2月)

ヒューマンケア実践研究支援事業助成を受け、兵庫県下のNPO法人を対象とした事務所実態調査アンケートとヒアリングを実施するとともに、先進地のNPO共同事務所の実践例を調査し、地域コミュニティの活性化のためのNPO共同事務所構想についての提言を行った。

● NPO育成支援アドバイザー派遣事業 (2004年4月～2005年3月)

市民活動団体が社会からのニーズに対応し、より力をつけるために、経理・IT (パソコン) などの実務経験者を、指導希望の団体にアドバイザーとして派遣 (市委託事業/緊急雇用創出事業)。

- ・ 2004年度：新規雇用者 (アドバイザー6名)、派遣先団体延べ30団体
- ・ 2000年からの事業全体の総括フォーラムを開催した。

● 生活復興のためのNPO活動支援事業 (2004年7月～2005年3月)

阪神・淡路大震災の被災者の生活復興に資する事業企画案から、優秀と認められた企画を、提案したNPOに委託して実施することにより、被災者の生活復興を支援するとともに、NPOの活動促進等に資することを目的とする事業。神戸まちづくり研究所がいくつかの団体と一緒に応募し実施した。(市委託事業/緊急雇用創出事業)

「中間支援による、ひと・まち元気アップ事業」として3団体で実施。「明舞団地再生のためのまちづくり支援事業」(神戸まちづくり研究所)、「セルフヘルプグループ運営支援のための分かちあい・支えあいボランティア派遣事業」(ひょうごセルフヘルプ支援センター)、「市民活動とコミュニティビジネスのための総合コミュニティサイト(みんなでつくるホームページ)構築・運営事業」(ひょうご市民活動協議会)の3事業を実施した。新規雇用者5名。

● 兵庫まちづくりプラットフォーム事業 (2004年4月～2005年3月)

ひょうごボランタリープラザの行政・NPO協働事業助成を受けて実施。兵庫県下のまちづくり関係者のネットワークを構築するために、第3年次事業として明舞団地再生事業とワークショップを開催した。

<明舞団地再生事業>

- ・ 明舞まちづくり広場運営委員会と明舞まちづくりサポーター会議のまとめ

<兵庫県下のまちづくり関係者のネットワーク構築事業>

- ・ 2005年3月19日 播磨地区 (姫路市) シンポジウム開催 (43名参加)
- ・ 2005年3月30日 但馬地区 (八鹿町) ワークショップ (19名参加)

● 新たな生活様式実現を柱とする多自然居住推進事業 (2004年8月～2005年3月)

ひょうごボランタリープラザの行政・NPO協働事業助成を受けて実施。多自然居住を進めるために、篠山市周辺をターゲットにして、第2年次としての調査をすると共に、ホームページを立ち上げた。

- ・ 通年で篠山市役所との打ち合わせや篠山市内の来住者や事業者の調査
- ・ 山崎町、長浜市、小浜市などの調査
- ・ 「丹波篠山田舎暮らし情報」サイトの立ち上げ

● 明舞団地街開き40周年記念事業 (2004年7月～2005年3月)

神戸県民局と都市再生機構の委託により、公開講座・記念シンポジウムと、明舞まちづくり広場の設置・運営を行った。

- ・ 2004年7月10日～2005年3月29日 明舞まちづくり広場の開設
- ・ 2004年10月17日 明舞団地街開き40周年記念シンポジウム (60名参加)
- ・ 明舞まちづくり公開講座については、生活復興県民ネットの地域活動推進講座助成金の対象とならない経費を委

託事業費から支出した。

● 明舞団地マンション再生アイデアコンペ事業（2004年12月～2005年3月）

ハウジングアンドコミュニティ財団の委託事業として実施。

- ・ 2005年1月17日 募集開始
- ・ 2005年1月22日 コンペ趣旨説明会
- ・ 2005年3月6日 一時審査会（50団体72作品の中から優秀作品6団体7作品を決定）
- ・ 2005年3月13日 二次審査会（作品のプレゼン後に、住民の投票にて最優秀作品を決定）
- ・ 2005年3月末 優秀作品の小冊子を作成

● 住民による防災まちづくりに向けた調査（2004年9月～2005年3月）

全国都市再生モデル調査事業として実施。阪神間（対象市域は芦屋市、尼崎市、伊丹市、川西市、三田市、宝塚市、西宮市）の密集市街地の行政データをもとに、火災の延焼などの防災上危険性の高い地域を調査し、火災ハザードマップを作成する。調査で把握した地域で、住民主体の取り組みを進めるためにNPO間の連携を探る。

● 住民主体の地域交通再構築プロジェクト（2004年5月～2005年3月）

神戸県民局の神戸地域団体活動パワーアップ事業補助金を受け、地域住民と東灘交通市民会議を立ち上げ、コミュニティバスを走らせるための課題の整理や運行に必要な条件整理を行う。民間交通事業者に委託し、コミュニティバスの本格運行を行った。

● 交流・相談・視察受け入れ業務

- ・ 相談：社会福祉法人協同の苑、神戸市生活文化観光局
- ・ 視察：神戸市市民参画推進局、駒澤大学文学部社会学科講師、ブリティッシュ・コロンビア大学教授
- ・ 兵庫県職員NPOトライやる事業にて、3名を受け入れ